

3 生涯学習の充実

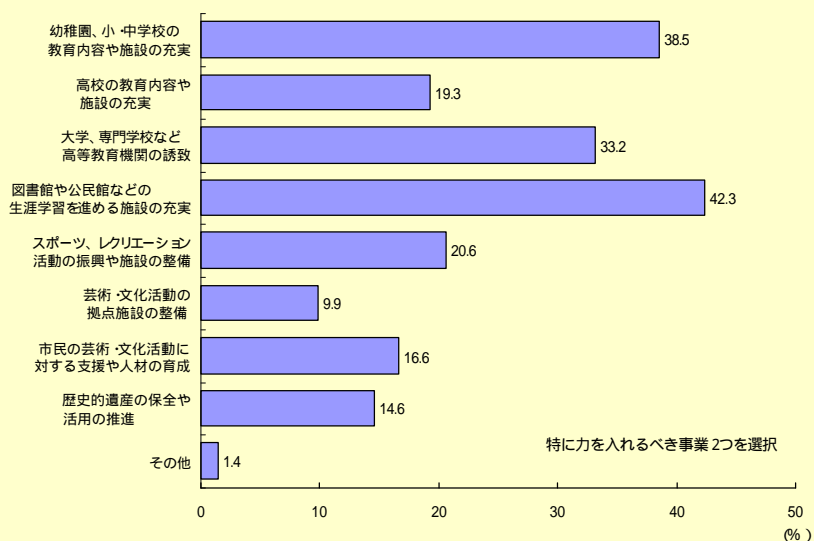
< 市民の声 >

教育や文化については、「図書館や公民館などの生涯学習施設の充実」を今後の重点施策とすべきとの声が最も多くきかれました。

また、芸術・文化については「芸術・文化活動の拠点施設の整備」というハードの整備よりも、「市民の芸術・文化活動に対する人材の育成」というソフトの充実に対する要望が多くきかれました。

「その他」の意見としては、教育者の資質の向上やソフト面の充実、2年制など幼児教育の充実などがあげられました。

(平成11年9月実施 市民アンケート調査より)



(1) 就学前保育・教育の充実

1) 現状と課題

幼児期は人間形成の基礎を培う重要な時期です。このため、本市では就学前保育・教育ならびに小学生を対象とした放課後の児童教育の充実を図ってきましたが、少子化や核家族化、共働き世帯の増加などにともない、子育て支援活動や早朝保育、延長保育などがより強く求められています。一方、市内の保育所は、無認可3ヶ所を除く公立・私立の保育所の定員900名に対し、平成12年4月1日現在の入所者数は553人となっており、今後も定員割れが続くと考えられます。今後さらに多様な就労形態に対応した保育ニーズに対応するため、保育所の統廃合の問題も含め、定員の再設定、幼稚園と保育所の連携・協力のあり方、適正配置について検討していく必要があります。

また、就学前教育における幼稚園の果たす役割は大きいものの、市内の幼稚園の大半は1年制であり、2年保育の推進や教育システムの充実について早急に検討する必要が生じています。

さらに、放課後の子どもたちの健全育成を目指した放課後児童クラブの新たな開設の要望が強いことから、これに対応するための学区構成の検討、送迎体制の検討などが求められています。

幼稚園園児数

(単位：人)

年 度	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
篠山幼稚園	40	47	34	48	46	36	50	31	24	37
八上幼稚園	35	26	36	34	22	29	25	25	24	27
畑幼稚園	12	18	13	14	13	10	14	11	12	5
城北幼稚園	46	19	30	18	33	25	33	23	32	24
岡野幼稚園	29	21	23	28	31	41	36	48	31	43
かやのみ幼稚園	43	45	31	36	28	36	33	22	42	30
後川幼稚園	14	12	18	19	13	13	14	11	11	10
福住幼稚園	40	33	24	23	31	25	26	24	20	23
きよたき幼稚園	27	25	31	25	16	21	18	15	10	14
西紀みなみ幼稚園	-	-	-	-	-	-	37	33	44	31
西紀きた幼稚園	20	20	19	14	11	15	19	16	20	15
味間幼稚園	92	87	108	103	82	85	79	76	52	80
大山幼稚園	18	17	19	16	13	13	14	15	18	16
城南幼稚園	33	20	29	25	28	25	29	39	29	28
古市幼稚園	30	31	17	23	25	15	26	29	22	18
今田幼稚園	49	34	42	39	46	50	52	41	45	54
計	528	455	474	465	438	439	505	459	436	455
増減率	100.0	86.2	104.2	98.1	94.2	100.2	115.0	90.9	95.0	104.4

平成8年度までは西紀保育園が幼稚園と兼用、平成9年度西紀みなみ幼稚園新設

資料：篠山市教育委員会

2) 基本方針

次代を担う子どもを安心して生み、子どもが健やかに育つことができるよう子育て環境を充実すると共に、多様な就労形態に対応した保育サービスの充実を図ります。

3) 施策の展開

就学前保育・教育の充実 ─┬─ 子育て環境の向上
└─ 幼児教育の充実

子育て環境の向上

多様な就労形態に対応した保育ニーズに応えるため、保育所の適正配置の推進、保育士の資質の向上・人材確保、保育所施設・設備の整備、保育制度の充実、さらに事業所内保育所の設置など多様な保育サービスの推進を図ります。

また、就学前教育の効果の検討や、施設の共用による効率的なサービスを進めます。

さらに昼間家庭に保護者がいない小学生の放課後における健全育成を図るため、児童クラブの活動内容の充実、環境整備の推進を図ります。

幼児教育の充実

本市の自然や文化等をいかした特色ある幼児教育を推進するとともに、幼稚園施設・設備の充実を進めます。

また、2年保育の推進等新たな教育ニーズに対応すべく、幼稚園教育振興計画策定検討委員会を設置し、幼稚園における教育システムの充実を図ります。

さらに、養護学校や各家庭との連携のなかで、障害児の就学前教育の推進を図ります。

(2) 学校教育の充実

1) 現状と課題

小・中学校では、人間性豊かで想像力に富んだ児童・生徒の育成を目指した教育内容を創造するとともに体制を築きあげてきましたが、今後は完全学校週 5 日制や総合的な学習の時間導入などの教育改革への対応と、情報化・少子化・高齢化・国際化・不登校・問題行動といった今日的課題への対応が求められています。

また、生涯学習体系とも連動するため、各小学校・中学校では、グラウンドや体育館の地域への開放が既に行われていますが、今後少子化により空き教室が増加するなかで、社会教育の場としてだけでなく、空き教室対策の面からも地域に開かれた学校づくりを進めていく必要があります。

学校教育施設については概ね整備済みですが、一部地域では老朽化の著しいところもあります。特に、現在の篠山中学校は国指定文化財篠山城跡にあり、改築にあたっては城跡外への移転を必要とします。今後、篠山中学校の移転改築を機に、校区の見直しを含めた適正な施設整備を検討していく必要があります。

小学校児童数

(単位 : 人)

年 度	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
篠山小学校	246	251	258	269	267	284	280	272	259	257
八上小学校	189	185	183	198	215	207	202	201	189	171
畑小学校	93	93	96	103	102	99	92	91	83	83
城北小学校	200	215	204	209	185	198	198	184	175	181
岡野小学校	182	166	164	162	177	213	232	241	255	259
日置小学校	178	182	182	169	170	157	168	166	147	158
後川小学校	54	51	51	49	57	53	49	53	48	49
雲部小学校	89	83	85	77	79	75	77	71	65	65
福住小学校	141	136	129	124	123	110	97	86	87	79
大芋小学校	101	89	88	90	88	77	70	69	69	56
村雲小学校	104	101	101	102	97	90	83	74	70	56
西紀南小学校	107	105	109	120	129	133	141	156	158	164
西紀小学校	112	116	113	113	112	116	127	111	107	100
西紀北小学校	60	61	63	63	60	58	56	56	55	50
大山小学校	141	136	126	124	115	105	100	95	96	94
味間小学校	606	657	666	723	751	737	733	702	693	632
城南小学校	162	176	163	171	182	184	203	204	221	217
古市小学校	187	196	199	177	188	180	164	160	154	163
今田小学校	282	295	294	302	303	299	318	314	304	306
計	3234	3294	3274	3345	3400	3375	3390	3306	3235	3140
増減率(%)	100.0	101.9	99.4	102.2	101.6	99.3	100.4	97.5	97.9	97.1

今田小学校には障害児学級含む

資料:篠山市教育委員会

中学校生徒数

(単位：人)

年 度	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
篠山中学校	491	502	485	485	468	465	505	522	532	520
城東中学校	163	174	172	169	165	170	162	-	-	-
多紀中学校	190	194	177	169	151	165	174	-	-	-
篠山東中学校	(353)	(368)	(349)	(338)	(316)	(335)	(336)	340	321	300
西紀中学校	171	178	177	158	159	147	151	166	184	195
丹南中学校	608	612	635	615	611	637	663	676	635	627
今田中学校	152	152	142	146	153	163	161	177	156	164
計	1775	1812	1788	1742	1707	1747	1816	1881	1828	1806
増減率(%)	100.0	102.2	98.7	97.5	97.9	102.3	103.9	103.6	97.2	98.8

注：城東および多紀中学校は篠山東中学校に統合

資料：篠山市教育委員会

養護学校生徒数

(単位：人)

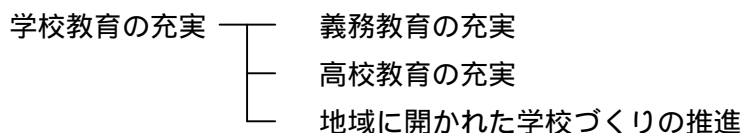
年 度	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
幼稚部	2	2	2	4	2	3	2	4	2	5
小学部	14	19	16	16	17	11	10	7	8	7
中学部	9	7	8	6	5	7	9	13	9	10
高等部	-	-	-	8	13	21	16	11	13	14
計	25	28	26	34	37	42	37	35	32	36
増減率(%)	100.0	112.0	92.9	130.8	108.8	116.5	88.1	97.0	94.2	115.4

資料：篠山市教育委員会

2) 基本方針

ますます多様化する学校教育に対応するため、教育内容の一層の充実や教育施設の改善・充実を進め、児童生徒の個性を大切にしながら、未来を担う優れた人材を育てます。また、市民の身近な活動や交流の拠点として、地域に開かれ、多面的な機能をもつ学校づくりを行います。

3) 施策の展開



義務教育の充実

心身ともに健康で豊かな人間性を育むため、学校教育の一層の充実を図ります。このため、教員の資質向上とともに、“人づくり”を基本とした個性を育む質の高い教育を推進します。

また、心身に障害のある児童生徒の可能性を最大限に伸ばし、自己実現を促進す

るために、養護学校や各家庭との連携のなかで、障害児教育の推進を図ります。

さらに、少子化の進展のなかでよりきめ細かな教育を実施するため、小学校区の再編成を視野に入れながら、教育施設の地域格差を順次解消するとともに、情報化への進展や教育情報衛星通信ネットワーク(L ネット)の導入等、多様化する教育内容に対応できる施設・設備を整備します。

高校教育の充実

篠山鳳鳴高等学校、篠山産業高等学校および同東雲校(仮称)・丹南校(仮称)の4つの高校が、それぞれの特色に応じた施設・設備の充実が図れるよう関係機関に要請していきます。

また、社会情勢の変化や地域の生徒数の動向を見据えながら、適切な高校・学科の再編について検討を進めます。

地域に開かれた学校づくりの推進

完全学校週5日制の導入にともなう児童・生徒などの週末活動促進も含め、学校施設を生涯学習社会に対応できる場としての利用をさらに進め、児童生徒と市民との交流が可能となる開放的な教育空間の形成を図り、地域に開かれた学校づくりを推進します。

また、これまで幼稚園や小学校等において活動実績のある地域の指導者や「まなびすとバンク」登録者の協力を得て、今後とも園児や児童と市民との多様なふれあいを構築することに努めます。

(3) 社会教育の充実

1) 現状と課題

「生涯学習のまちづくり」を各分野において取り組んでいます。部局間の連携を強めるとともに、市民意識を高揚し、総合政策としての取り組みを推進する必要があります。

現在、市内の図書館は本郷図書館1館のみで、公民館等の数箇所に図書コーナーが設置されているに過ぎず、市民ニーズに十分応えられていない状況で、専門職員や蔵書の充実、開館時間の延長も求められています。また、視聴覚ライブラリーについては、市民の多様な学習ニーズに対応するため、研修室やビデオの視聴ブースの設置、ビデオ・書架スペースの拡充などが必要となっています。

図書館については、新しく中央図書館が建設されますが、市民の身近にあって生涯学習活動を支援するための中枢機能を有する場として、本郷図書館や他の学習施設・文化施設及び学校とのネットワークのもとに整備していく必要があります。同様に、その他の学習施設についても、生涯学習を推進する上でネットワーク化を求められています。また、人材面では、現在「まなびすとバンク」として延べ135人も多様な人材が登録されていますが、さらなる人材の確保と活用を進めていく必要があります。こうした情報・人材等のネットワークを進めるために、双方向通信システムの整備による学習システムの導入を検討していく必要がある。

さらに、男女共同参画社会の実現に向けて女性の意見を市政に反映するなど制度の充実が必要です。

生涯学習施設一覧

名 称	特 徴	利用	休館日
本郷図書館	蔵書数約31,000冊	無料	月曜日、祝日、毎月1日・16日、12月29日～1月3日
篠山公民館 (篠山市民会館)	大会議室(400人)、展示室、会議室×2、和室×3	有料	12月29日～1月3日
城東公民館	大会議室(200人)、展示室、和室×2、研修室×3、調理実習室、図書室、サークル室	有料	12月29日～1月3日
多紀公民館 (ハートピアセンター)	多目的ホール(220人)、会議室、農産加工実習室、農事研修室	有料	12月29日～1月3日
西紀公民館 (西紀支所)	会議室、多目的ホール、和室	無料	12月29日～1月3日
西紀公民館分館	大集会室、和室、研修室×2	有料	土曜日・日曜日、祝日、12月29日～1月3日
丹南公民館	大会議室(150人)、会議室×2、研修室、和室×4、サークル室、応接室、調理実習室、ロビー	有料	12月29日～1月3日
今田公民館	集会室(100人)、視聴覚室、和室研修室、青年会室、相談室、農業経営他産業研修室、農業婦人研修室、調理実習室	有料	12月29日～1月3日
視聴覚ライブラリー	ビデオソフトや視聴覚機器の貸出し、視聴覚教材の制作、研修講座開催、ビデオ記録など	無料	土曜日・日曜日、祝日、12月29日～1月3日

B&G海洋センター	体育館、ミーティングルーム、中央グラウンド、テニスコート、プール	有料	体育館・プール(6月1日～9月30日)・水曜日、グラウンドナイター:12月～3月、12月29日～1月3日
-----------	----------------------------------	----	--

資料:篠山市教育委員会

本郷図書館利用状況 (単位:人)

年 度	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
利用者数(人)	21,945	29,358	27,523	32,478	33,088	41,759
貸し出し(冊)	29,719	38,790	36,872	42,570	45,449	55,966
蔵書(冊)	23,356	25,271	26,806	29,105	29,214	30,745

資料:篠山市教育委員会

視聴覚ライブラリー利用状況(ビデオの貸し出し)

年 度	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
利用回数	318	395	428	499	1007	1,864
貸し出し(本)	773	1,312	1,426	1,515	3,181	6,420

平成6年度利用回数は機材貸し出しを含む

資料:篠山市教育委員会

公民館利用状況 (単位:人)

年 度	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
篠山公民館 (篠山市民会館)	73,498	83,152	80,055	81,051	73,498	71,644
城東公民館	18,180	25,479	24,250	22,755	20,895	16,837
多紀公民館	9,245	9,988	11,494	13,410	10,684	12,847
西紀公民館	5,134	5,582	5,468	5,731	5,885	15,619
丹南公民館	29,434	27,696	28,938	28,274	28,768	27,956
今田公民館	14,537	13,881	15,797	14,139	15,204	16,948
計	150,028	165,778	166,002	165,360	154,934	161,851

資料:篠山市教育委員会

2) 基本方針

市民の学ぶ意欲に応えるとともに、生きがいの創出や、自己実現の促進を図るため、質の高い学習内容の提供や、気軽に学べる機会づくりを行います。同時に、学びの場となる各種施設の整備・充実とともに、人・情報・施設のネットワーク化を進めます。

3) 施策の展開

社会教育の充実

- 社会教育の推進体制の充実
- 学習施設の整備・充実
- ネットワーク化の推進

社会教育の推進体制の充実

多種多様な分野におよぶ生涯学習を総合的に推進していくため、篠山市生涯学習

推進本部のもとに、行政各部署の横断的推進体制の整備を図ります。

また、篠山市生涯学習推進基本構想を策定し、関係各方面との連携強化を図り、社会教育を含めた広範な生涯学習活動を推進する体制づくりを進めます。

さらに篠山市女性委員会などの調査・研究を踏まえ、男女共同参画プラン（行動計画）を策定します。

学習施設の整備・充実

これまで学習活動の拠点として市民会館が活用されてきましたが、さらなる機能充実を図るため新たに市民センター（仮称）の整備を推進します。さらに、市内西部の四季の森会館周辺を生涯学習ゾーンの中心として位置付け、中央図書館と丹南公民館を建設します。同時に、視聴覚ライブラリー、地区公民館や学校施設等既存施設のさらなる充実・活用によって、市民の学習活動を強力に支援し、身近なところで多様な学習機会を提供できるよう、人材の育成と確保を図ります。

これらの学習施設の運営にあたっては、勤労者等が帰宅後や休日にも学習施設を利用できるよう、利用時間・サービスの拡大に努めます。

また、子どもたちの「創造性」と「生きる力」を育むために、参加・体験型の校外学習施設として、多紀中学校の跡地を活用した篠山チルドレンズミュージアムの整備を行います。

ネットワーク化の推進

効果的効率的な学習システムを形成するため、人・情報・施設のネットワーク化を推進する必要がある。このため新図書館と本郷図書館とのネットワークをはじめとして、各種学習施設における情報・サービスのネットワーク化を推進し、市内各所で質の高い社会教育の展開を図ります。

また、多分野にわたって人材の登録が行われているまなびすとバンクの一層の充実を図るとともに、社会教育の推進に関連する各種組織、ボランティア団体、NPO法人等への支援と相互の連携強化に努める。

さらに、市内における双方向通信システムの整備を視野に入れながら、各家庭からオンラインで多様な学習や各種サービスを受けることができる等、情報ネットワークによる社会教育の推進について検討を進めます。

(4) 人権教育の推進

1) 現状と課題

基本的人権の尊重が憲法で保障されているにも関わらず、現実には様々な差別が根づよく存在しており、これを早急に解決することが国民的課題になっています。特に凶悪犯罪の増加や、生命の大切さの認識の希薄化等、変化する社会環境のなかで、人権尊重のための意識の高揚を図る教育を推進する必要があります。

本市においては差別のない明るいまちづくりを重点施策として市民への啓発活動などに努めてきました。今後さらに、人権が尊重される社会づくりを総合的に推進するための施策の展開が必要です。また、平成12年度から3ヶ年で実施する人権問題実態調査結果を受けて将来を見据えた施策を推進します。

2) 基本方針

同和問題をはじめあらゆる差別をなくし、市民一人ひとりが、安心して、幸せに暮らしていくことができるよう、すべての人が人権を尊重するまちづくりを行います。同時に、暮らしのあらゆる面での差別を解消するため、総合的な施策を推進します。

3) 施策の展開

人権教育の推進 ┌ 人権尊重意識の啓発
└ 差別解消のための総合的施策の推進

人権尊重意識の啓発

家庭や学校、地域社会等、あらゆる場において、人権を尊重するための教育・啓発活動を推進するとともに、近年、問題となっている生命の軽視についても、人間として正しい認識と行動をとることができるよう、総合的な人権教育の推進を図ります。

差別解消のための総合的施策の推進

就労時の差別や生活環境整備の格差解消等、暮らしのあらゆる面における差別の解消を図るために、企業に対する啓発強化や、相談体制の充実、住環境整備の計画的推進を図ります。

また、同和問題に関する意識等の実態の把握に努め、将来的に人権問題に関わる情報資料センターとして活用し得るよう、適切な情報の収集とデータベース化を進めます。

さらに、あらゆる人権にかかわる課題の解決を目指して「篠山市人権教育のため

の国連 10 年推進本部」を設置して、行動計画を策定し、その計画に基づいた具体的な背策を推進します。

(5) 芸術・文化の振興

1) 現状と課題

歴史・伝統に培われた芸術・文化を育むため、これまでも施設整備を進めてきましたが、施設立地の偏在などから、引き続き施設の充実が求められます。特にソフトの一層の充実を図り、広範な市域で市民が気軽に芸術・文化に親しむことができる環境整備を図る必要があります。

たんば田園交響ホールや四季の森会館でみられるように、本市における市民の主体的な文化・芸術活動は特筆すべきものがあります。この市民主体の活動をさらに拡大する必要があります。また、陶の郷での陶芸体験などのように、参加・体験型の芸術・文化活動ニーズも高まっており、このような市民のニーズに対応したサービスやソフトの充実が必要です。

本市には、国指定の文化財14件、県指定22件、市指定140件と貴重な文化財が多数あります。

なかでも国指定の史跡である篠山城跡は篠山市のシンボリックな存在であり、古くより市民から復元を望む声が多く上がっていた大書院が築城当時の姿に復元され、平成12年より一般に公開されています。また城跡を中心とした地区は県の景観形成地区に指定されており、城下町の歴史文化を生かし現代に調和するまちづくりを目指した取り組みを展開しているところです。このように、有形文化財・記念物については適切な保存を図るとともに一部については観光資源等として一定の活用が図られてきたところですが、今後は文化財を活用した地域づくりを積極的に進めていくことが必要です。一方、無形文化財の継承は、後継者不足などにより危機的な状況にあります。現在いくつかの保存会による取り組みがなされて、今後これらの活動に対する人的支援を含め、早急な対策が必要です。

芸術・文化施設利用状況

(単位：人)

年 度	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
たんば田園交響ホール	64,750	65,279	56,392	69,645	62,182	61,954
歴史美術館	40,234	39,769	41,997	38,096	30,381	28,695
四季の森会館	-	-	51,602	51,682	43,593	54,279
安間家史料館	-	14,857	17,561	21,610	17,692	16,398
青山歴史村	19,401	21,567	29,091	27,124	16,355	17,226
丹波杜氏酒造記念館	15,608	15,947	16,495	18,317	16,686	11,631
丹波伝統工芸公園(陶の郷)	134957	133457	156,263	154,041	126,125	128,160
さぎそうホール	-	-	-	-	-	3,500

但し平成11年度のさぎそうホールは、9月～3月の間

資料：産業経済部

指定文化財

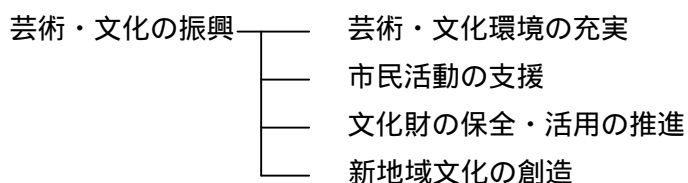
指定種別	有形文化財							有形民俗文化財	無形民俗文化財	無形文化財	記念物			陵墓参考地	合計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	古文書	歴史資料	典籍				考古資料	史跡	名勝		
国指定文化財	2		8							1	1		2		14
県指定文化財	2	1	3	1	1			3	3	1		3		4	22
市指定文化財	17	12	23	20	21	1	1	6	6	8	2	14	1	8	140
陵墓参考地														1	1
合計	21	13	34	21	22	1	1	9	9	9	3	18	1	14	177

資料：平成11年4月篠山市教育委員会

2) 基本方針

長い歴史と市民の力によって育てられてきた豊かな芸術・文化を守るとともに、今後の一層の発展に向けて芸術・文化を楽しむ環境の充実、市民の芸術・文化活動の支援を図る。文化財については、保全とともに新たな活用を図り、歴史資源としてさらに魅力的な利活用を図ります。これらの取り組みを通じて新しい地域文化の創造と発信をめざします。

3) 施策の展開



芸術・文化環境の充実

市民がより身近に芸術・文化に親しむことができるように、芸術・文化施設の整備・充実を推進するとともに、展示等の質的充実を図ります。

また、参加・体験型の芸術・文化活動の充実や、利用案内をはじめとした各種情報の積極的発信、サービスの充実等により、市民をはじめ多くの人々が本市の芸術・文化を楽しむことができる環境づくりを進めます。このため、専門的な知識や技術を有した指導者の育成・確保に努めます。

市民活動の支援

市民主体による芸術・文化活動を一層支援し、市民の手で守り育てていく芸術・文化の振興を図ります。

また、各種芸術・文化団体の育成や指導者の育成とともに、社会教育との連携を強化することを通じて、市民が気軽に芸術・文化に触れられる環境づくりを推進します。

文化財の保全・活用の推進

篠山能や丹波立杭焼など、これまで継承されてきた貴重な伝統芸能や文化を保全・継承するため、後継者の育成等を積極的に支援するとともに、観光資源としての利用も視野に入れた活用方策を検討します。篠山城跡や大国寺本堂、日置のハダカガヤなど、既に指定されている文化財の保全・活用を引き続き推進するとともに、さらなる文化財の収集・保全に努めます。

また、(仮称)県立陶芸館の整備推進や、八上城跡周辺の多面的活用、篠山城跡周辺の雲紋竹を利用した竹工芸の保存継承と活用(匠の村構想)等、貴重な歴史・文化資源の活用を推進します。

新地域文化の創造

芸術文化は、従来から都市部が発信基地となり地方は受け手に回っていましたが、地方の時代の今日、“篠山らしい”地方文化の創造と発信をめざします。

このため、本市に受け継がれた優れた文化資源を保全活用しながら、本市の自然的・文化的特質を最大限に生かした新しい地方文化の創造を推進するとともに、インターネット等の情報技術も活用しながら、国の内外を問わず広く文化を発信します。

また、環境問題が経済問題と並ぶ重要な課題となるなかで、本市には農林業を中心とした生活とともに、自然を活用し自然と共生する知恵と技術が培われ受け継がれてきました。これらを受け継ぎ育てていくことで今後の都市のあり方を示すひとつの方向性として篠山ならではの地域文化である田園文化の創造と発信をめざします。